

ミヤギサトシシヨ

心読しん

作・小林恭二

構成・演出・宮城 聡

11/1 FRI 3 SUN

AI・HALL (伊丹市立演劇ホール) JR伊丹駅前



既に「小説」といつものが滅んでしまっている21世紀中葉の日本で、100歳で歿した一人暮らしの老人が誰に知られることもなく90年間書き続けていた『ラスト・ソベル』。それは、小説の中に小説があり、その小説のなかにもまた小説があり……という何と5000の小説群の入贅構造による、ひとりのトータルな「宇宙」であった。この小説をめぐる「マニエリスム」が壮大な「狂気ゲーム」をくりひろげる中、これを読み始めた無数の読者たちが、次々とまるでこの「宇宙」に吸い込まれるかのよつに昏睡におちいってゆく。

日 時 ■ 11月1日 金 7:00PM開演
2日 土 7:00PM開演
3日 日 2:00PM開演
開場は開演の30分前
料 金 ■ 前売り2,800円
(整理番号付自由席券)
当 日3,000円
問合せ/予約 ■ AI・HALL ☎0727-82-2000
前 売 取 扱 ■ チケットぴあ ☎06-363-9999
AI・HALL ☎0727-82-2000

スタッフ・音 楽▷山貫憲彦
美 術▷城戸孝夫
照 明▷坂元理人
照明協力▷株式会社アート・スイング
舞台監督▷堀内真人
企画製作▷バグ・コーポレーション
ヴェリッチ
主 催▷伊丹市

(宮城 聡) スピリチュアル・パフォーマンス、演出家。1959年東京神田生まれ。東京教育大学付属駒場高校卒、東京大学美学科中退。86年9月「迷宮生活」(作:小林恭二)で、ソロパフォーマンス(ミヤギサトシシヨ)を開始。「確固たる「語り」の技術の上に賛論的要素の加味された新しい「進化系」の誕生」と注目を集める。その後も小林作品を立て続けに上演。なかでも「小説伝」は絶賛を浴び、バルテノン多摩フェスティバル'88で最優秀賞を受賞する。同年10月シードホールで上演された「純愛伝」では圧倒的なパワーとゆるぎない方法論で極めて高い完成度をしめし、各界クリエイターからも絶賛を浴びる。その後も語組作「ノライフキング」(作:いとうせいこう) (89年) や、全ヨーロッパでベストセラーとなったP・ジュースキント「香水」の劇化に取り組みなど、パフォーマンスアートでの最前線を疾走しつづけている。演出家としても新プロジェクト「ク・ナウカ」を結成し、「ハムレット」「サロメ」の構成演出を手附けた。

(小林恭二) 1957年兵庫県西宮市生まれ。東京大学文学部美学芸術学専修課程終了。在学中は「東大学生俳句会」の一員として活躍。'84年「電話男」で海峽新人文学賞受賞。'85年「小説伝」が第94回芥川賞候補作となり、最も注目される新世代作家の一人となる。'87年初の長編小説「ゼウスガールズ喪亡史」(第一回三島由紀夫賞候補作)では、ジャンルにとどまらない反響を呼び、若手作家No.1の地位を固めた。近作として「荒野録」「俳句という遊び」「悪夢氏の事件簿」「春歌・小林恭二初期句集」がある。